

まんま農場(高山市)に出資

アグリ社と
JAバンク 農業振興を支援

JAバンクは投資育成会社アグリビジネス投資育成(東京都)と連携し、農業生産法人まんま農場(高山市上宝町本郷、小林達樹社長)に「アグリシードファンド」として705万円を出資した。まんま農場は、稲作経営の維持と野菜加工事業の規模拡大を図る。

県内のJAは、農業法人の事業拡大や財務の安定化を目的に金融支援を行っている。同ファンドの取り扱いには県内で2例目で飛騨地

した。現在は40畝を耕作している。アグリビジネス投資育成は、日本政策金融公庫とJAグループの出資で設立。今回は農林中央金庫、JA岐阜信連、JAひだを中心となって同ファンドの活用をまんま農場に提案した。
(青木政浩)

「ゆきまんま」の特別栽培米3商品をブランド展開し、低温スチーム加工を施したカット野菜も好評。生産から加工、販売まで6次産業化に積極的に取り組んでいる。

地元の本郷地区は、農家の高齢化や後継者不足で耕作放棄地が目立つようになったため、有志の農家が放棄田を借りて耕作面積を拡大。2005年、採算のとれる農業を目指してまんま農場を設立